

【上尾市】 校務DX計画

1 これまでの取組

上尾市では、令和2年度から児童生徒に学習者用端末を配布し、従来の授業スタイルを維持しながら、GIGAスクール構想の実現に向けて取り組んでいます。また、市教育委員会主催の各種会議を参集型からオンライン型に変更させて実施するなど、教職員の負担軽減を目指した取組を実施しております。

そして、統合型校務支援システムとして令和5年4月1日に本格稼働し、学校におけるグループウェア機能、教務系、学籍系、保健系などの情報を一元管理及び共有することで、校務における業務負担の軽減による教育の質の向上や情報セキュリティ面での向上が図られております。

2 ゼロトラスト環境の構築

(1) 校務系と学習者用ネットワークの統合

上尾市では、令和4年度に教育ネットワークを児童・生徒の個人情報等を取り扱う「校務系」、インターネットに接続して業務を行う「インターネット接続系」、児童・生徒が教育活動で利用する「学習系」の3つに分離し、インターネット経由等から児童生徒の個人情報等にアクセスできない構成としました。このうち校務系とインターネット接続系については、ネットワーク分離ソフトを導入し、1台の教職員用端末でそれぞれのネットワークを切り替えて利用するネットワーク分離環境を構築しています。

令和9年度の更改に向けて、教職員の働きやすさの向上と教育活動の高度化を目指し、アクセス制御によるセキュリティ対策を十分確保しながら、校務系・学習系ネットワークの統合するゼロトラストセキュリティの導入について検討を進めてまいります。

(2) 統合型校務支援システムの更改

現在のシステムは令和5年度から運用を開始しています。このシステムの導入により各業務の情報連携が進み、事務の効率化が図られています。

なお、現行システムの契約期間は令和9年11月30日までとなっており、今後は、更改に向けたシステム内容の検討等を進めてまいります。

3 校務改善のためのクラウドサービス・ツールの活用

学校では、児童生徒に学習者用端末が導入され、Google Workspaceの各種アプリや学習eポータルサイト、オンラインドリルを活用しながら授業を実施しております。また、今年度からデジタル採点システムも導入し、教職員の負担軽減を図る取組を推進しております。

また、生成AIの活用についてはICT支援員の協力のもと、生成AIの利用に関するガイドラインを定め、リスクとメリットについて十分検討しながら校務および教育活動への導入について検討を進めてまいります。

4 FAXおよび押印の見直し

FAXにつきましては、現在、訃報連絡や学校運営の支障報告で活用しております。今後は、緊急連絡やネットワークの不具合時など、電子メールよりもFAXのほうが効率的な場合を除き、校務系ネットワーク上でのやりとりの可否を検討し、見直しに向けて取り組んでまいります。

押印につきましては、統合型校務支援システム導入後、指導要録の従来の校長及び担任の印については廃止しております。また、勤務整理簿につきましても、従来の出勤簿に係る担任印について廃止するなど、今後も、市全体で押印の見直し及び廃止に向けて取り組んでまいります。

5 ペーパーレス化の推進

現在、市では、校長会議及び教頭会議において、会議資料を事前に電子で送付し、ペーパーレスの会議を実施しております。また、各学校の職員会議等においても、会議資料を共通フォルダやネットワーク上に保存し、各先生が自由に閲覧できるようなシステムを構築しながらペーパーレスの会議を実施しております。